良質なSEO対策

SEOに良い影響を及ぼす対策の中でとくに重要なものを抜粋しています。

下記の内容を理解しサイト構築を行ってください。

■やるべき対策

・タイトルの重要性

・listタグを使った正しい構成

・Hタグを使った見出し構成

・imgタグの正しいSEO表記

・Nグラム法を理解した文章構成

・SEOに有効な外部リンク

・正しいコンテンツ量の増やし方

・アクセス可能なコンタクトページ

・正しい内部構造

SEO対策をわかりやすく言うならば、Googleがどんなサイトであるのかを正確に認識させるための手法となります。名称としては検索エンジンの最適化とされていますが、我々アフィリエイターは、Googleにどんなサイトであるのか、UIデータでなく、HTML文書で正確に伝える必要があります。

HTMLにて、Googleに正確な情報を与えるには、いくつかの対策方法があるので

その対策方法の中でも重要なものをまとめています。

タイトルの重要性（SEOの影響度：高）

SEO対策を行う上でタイトルは非常に重要な箇所になります。

<title>で記載した内容やdescriptionで記載した内容は、検索結果にそのまま帰属するので、ここで狙ったキーワードを的確に入れておきましょう

例

狙いのキーワード：SEO　初心者

<title>SEO初心者に重要な対策方法を10分で教えます</title>

<meta name="description" content="SEO初心者に重要な対策方法をわかりやすく10分以内で読める記事にまとめましたSEO初心者の方は参考にしてください" />

listタグを使った正しい構成（SEOの影響度：中）

SEO記事にはlistタグを使い正しい文書構造をGoogleに知らせる事ができます。どういうキーワードで構成され、どういう内容を伝えようとしているのかGoogleが読み取りやすくする

**Listタグはulとolを使わける様にしてください**

**例：ul**

話の構成上リスト表示する際にulを使います

カレーライスに必要な材料

<ul>

<li>カレー粉</li>

<li>人参</li>

<li>ジャガイモ</li>

</ul>

**例：ol**

話の構成上、番号、順序を表す際にolを使います

カレーライスを作る手順

<ol>

<li>お湯を沸かす</li>

<li>具材を入れる</li>

<li>カレー粉を入れる</li>

</ol >

Hタグを使った見出し構成（SEOの影響度：高）

hタグはSEO上でもっとも重要なコンテンツの1つ。hタグの使い分けを正しく行い、Googleに記事中の構成を把握してもらう必要があります

**hタグの用途**

H1　そのページがどんなキーワードで構成されているのかGoogleに伝える為に1番重要で、できれば1つの記事構成の中に1回だけの出現が理想的

H2　hタグの中でも2番目に重要なタグ。こちらで記事内でその様な構成で文書が語られているのか、Googleに伝えます

H3,H4　h2で構成した文書を更に細かく構成する際に用いるタグです。

例1

<h1>見出し1</h1>

ああああああああああああああああああああ

<h2>見出し2</h2>

ああああああああああああああああああああ

<h3>見出し3</h3>

ああああああああああああああああああああ

<h4>見出し4</h4>

ああああああああああああああああああああ

　　<h2>見出し2</h2>

ああああああああああああああああああああ

<h3>見出し3</h3>

ああああああああああああああああああああ

<h4>見出し4</h4>

ああああああああああああああああああああimgタグの正しいSEO表記（SEOの影響度：中）

HTML文書中にイメージ画像を表示させる場合

<img src=””>　こちらのタグを使用していきますが、この状態ではGoogleが画像と記事内容との関連性に気づけない

ですのでimgタグを使用する際は、下記のタグを使用する事を推奨します

<img src=”画像URL” width=”横幅” height=”縦幅” alt=”画像の名前”>

使用する画像が何を意味する画像であるのか、記事に関連している画像を使用しているのか、しっかりとGoogleに教える必要があります。

Nグラム法を理解した文章構成（SEOの影響度：中）

Nグラム法を意識したHTML文書を簡潔に説明すると、Googleのロボットが文書をどう読み取っているのかを把握して記事を書こうという内容です

**Nグラム法とは**

Nグラム法とは簡単に言えばGoogleが文書を読み取る為の規則性です

Googleでは、HTML文書を以下の様に読み取っていると言われています。

初心者のSEO対策

『初心者の』『心者のS』『者のSE』『のSEO』『SEO対』『EO対策』

このNグラム法にてGoogleはキーワードの出現頻度や、構成を把握しているとも言われていますが、ここまで細切れにされた文書を意識するのは難しい。

なので記事を構成する際はキーワードを文章の冒頭に置く工夫をする事

例

<p>初心者でも分かるSEO対策を今回ご紹介していこうと思いますのでSEO初心者の方はこちらの記事を最後までお読みください。</p>

<p>SEOが苦手という方でも分かりやすく解説しています。</p>

<p>対策方法で悩みを抱えている方は是非、こちらのSEO初心者の対策内容をチェック</p>

SEOに有効な外部リンク（SEOの影響度：小）

作成した記事をGoogleに評価される基準として、意外に外部リンク対策が入賞しているんです。

外部リンクは、確かにドメインパワーを他のサイトに分け与えてしまう効力を持ちますが、外部リンク先によっては、ユーザービリティを意識しているという事でGoogleに評価されます

Googleに評価される外部リンクとは

ドメインパワーのあるサイトへのリンクです。

また　<blockquote>　を使い、ドメインパワーの強いサイトから文書を引用するのもGoogleの評価対象とされています

正しいコンテンツ量の増やし方（SEOの影響度：小）

正しいコンテンツというよりはGoogleに評価されやすいコンテンツの増やし方をご説明します。

例えば、見出しタグとPタグのみで構成された記事があるとしますが、それだけでなく、リストタグや、テーブルタグ、イメージタグを用いてユーザービリティを考慮した記事をGoogleは評価する

例

<h1>あああああああ</h1>

<p>いいいいいい</p>

<ul>

<li>ううううううう</li>

<li>ううううううう</li>

<li>ううううううう</li>

</ul>

<h2>あああああああ</h2>

<p>いいいいいい</p>

<h3><あああああああ/h3>

<p>いいいいいい</p>

<table>

<tr><th>ええええ</th><td>おおおお</td></tr>

<tr><th>ええええ</th><td>おおおお</td></tr>

<tr><th>ええええ</th><td>おおおお</td></tr>

<tr><th>ええええ</th><td>おおおお</td></tr>

</table>

アクセス可能なコンタクトページ（SEOの影響度：小）

Googleは、発信する情報に関して、誰が誰の為に発信している情報なのか、またそこには信頼性はあるのかなど、とにかくユーザーへの配慮がすごいです

ですのでGoogleは、媒体管理者の存在を把握できるサイトを上位表示させやすい傾向にある。その1部の判断材料として、アクセス可能なコンタクトページがあると言われています。

アクセス可能なコンタクトページとは

言わば機能しているお問い合わせコンテンツという事。

SEOで評価をもらう為に、できるだけ媒体管理者に連絡が取れるコンタクトフォームを設けておく事をおすすめします

正しい内部構造（SEOの影響度：中）

SEOでは、サイトのどのページにパワーが集まっているのか

パワーのあるページが更にどこのページの情報を推奨しているのかなどを、リンクの導線をい辿りチェックしています。

ですので、SEOを狙ったサイトの構成や、SEOで上げたいページなどはしっかりとパワーを巡回させる役割をもたせましょう

**簡単なイメージ**

